

### (3) 南部地域の整備方針

#### 1) 地域特性と課題

○人口：4,816人、世帯数：1,708世帯（平成27年国勢調査）

本地域は、涸沼・大貫池・連担する緑地など、自然環境に恵まれた地域となっています。豊かな自然資源をまちの財産として、自然環境と調和したまちづくりが求められています。また、北部の中心拠点との連携軸の形成により、都市サービスを受けられるようにする必要があります。

土地利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市街化区域は海側の一部であり、多くが市街化調整区域となっている。</li> <li>○地域南側に原子力関連施設が立地している。</li> <li>○市街化調整区域は、農地と斜面緑地が多くを占め、農地周辺に生垣や敷地内緑地を有した集落が形成されている。</li> <li>○涸沼及び涸沼川沿いに水田が連続し、地域南側の丘陵地に畑が広がっている。</li> </ul>
自然環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>○中央には丘陵地があり、良好な斜面緑地を形成している。</li> </ul>
景観	<ul style="list-style-type: none"> <li>○涸沼や涸沼川、海に囲まれ、水辺の美しさを感じられるスポットが多くある。</li> <li>○地域南側の海岸では、砂地が侵食されている。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○総合運動公園、ゴルフ場などのスポーツ・レクリエーション施設がある。</li> </ul>

## 2) 地域の将来像

### 【将来像】

## 水と緑の美しさを感じられる落ち着いたゆとりのある地域

### 【基本方針】

南部地域では水と緑に包まれた環境の中に、スポーツや酒沼を楽しむことができる交流レクリエーション拠点をはじめ、都市の活力となる研究・業務拠点、環境共生のまちづくりを体験できる自然共生拠点、農業の育みを感じられる田園環境保全拠点の形成を図ることにより、水と緑の美しさを感じられる、落ち着いたゆとりのある地域を形成します。

## 3) 拠点形成方針

### ○田園環境保全拠点

酒沼の魅力を満喫できる空間の中で、酒沼東側に広がる田園景観を保全し、農業の豊かさを感じることが出来る田園環境保全拠点を形成します。

### ○研究・業務拠点

環境への配慮が徹底された施設と緑に包まれた環境の維持により、環境共生が図られたまちの産業を支える研究・業務拠点を形成します。

### ○複合産業拠点

自然環境に配慮した基盤整備を行い、業務用地や住宅地などの新たな拠点を形成します。

### ○自然共生拠点

大貫池の美しさや、森、水辺、草原、農地など、周辺における豊かな自然環境を満喫できるレジャー空間から、環境と共生した暮らしの豊かさや楽しさを感じられる自然共生拠点を形成します。

### ○交流・レクリエーション拠点

「夕日の郷松川」を活用し、都市と農村の交流や地域コミュニティ事業を展開する拠点を形成します。また、総合運動公園を中心に、ウォーキングやランニングなどに利用しやすい道路整備を推進し、スポーツを中心とした町民の健康増進に寄与するレクリエーション拠点を形成します。

### ○連携軸

集落の方々が中心拠点の生活サービス施設を利用しやすくするために、公共交通ネットワークの強化を図ります。

## 4) 地域のまちづくり方針

### ① 土地利用

#### ◆新たな市街地の形成

○大貫台周辺は、斜面緑地など一定の緑地量の確保とともに、自然と調和した業務用地や住宅地などの都市的土地利用を推進します。

#### ◆自然と共生した土地利用の推進

○山場平周辺では、隣接する大貫台の土地利用を視野に、住宅用地の形成を図り、周辺全体の土地利用を検討します。

○優良農地は保全します。

### ② 道路・交通

#### ◆環境に配慮したみちづくり

○環境共生型社会構造の形成に向け、まちをネットワークするサイクリングロードやサイクリングスポットの整備を推進します。

#### ◆歩行者の安全性が確保されたみちづくり

○県道長岡大洗線は、主要生活道路としてさらなる安全性を確保するよう、道路環境の向上に努めます。

#### ◆地域の歴史、文化が感じられるみちづくり

○国道51号沿道では、高台から海を満喫出来る眺望スポットの整備を推進します。

土地利用、道路・交通方針図



### ③公園・緑地

#### ◆新たな魅力となる公園づくり

○大貫台の開発に伴い、自然との共生を学習できる公園等の整備を推進します。整備に当たっては既存樹木の活用を図るとともに、誰もが利用しやすい施設としてユニバーサルデザインに配慮した整備を推進します。さらに、住民ニーズを取り入れた施設整備を推進します。

#### ◆特徴を活かした公園づくり

○大貫池は、休憩スポットの整備などにより観光資源化を図ります。また、大貫台の開発による公園等と一体的な整備を推進します。

○酒沼やその周辺は良好な自然環境を保全するとともに、夕日の郷松川を活用した交流事業を促進し、観光資源化を図ります。

### ④河川・池沼

#### ◆災害に備えた堤防整備

○酒沼川沿岸では、治水機能の向上を図るよう堤防整備を促進します。

## ⑤ 景観

### ◆ まちを象徴する景観づくり

○観光施設への視認性を高めるよう、サインの設置を推進します。

### ◆ 地域の憩いの場となる景観づくり

○国道51号沿いは、海岸線の美しい景観を演出する松林の保全に努めます。

○南小中学校周辺は、大洗の眺望スポットとしての整備を推進します。

### ◆ 緑豊かな景観づくり

○原子力施設周辺は、緑に囲まれた環境の維持を促進します。

### ◆ 地域の歴史文化を継承する景観づくり

○松川陣屋跡付近は、古くから残る神社や緑に包まれた集落環境を保全します。

公園・緑地、河川・池沼、景観方針図



